

九州エリアの2024年2月分電気料金の燃料費調整について

九州エリアの2024年2月分の電気料金につきまして、下記のとおり燃料費調整を実施いたします。
 なお、当社が料金のお知らせおよび請求を書面等にて行う場合は、当面の間、燃料費調整単価および離島ユニバーサルサービス調整単価の合算値を燃料費調整単価、燃料費調整額および離島ユニバーサルサービス調整額の合算値を燃料費調整額とそれぞれ表示いたします。

記

1 燃料費調整単価（税込）

	供給電圧	激変緩和措置 反映前	激変緩和措置	激変緩和措置 反映後
1 kWhにつき	低圧の場合	2 円 6 0 銭	▲ 3 円 5 0 銭	▲ 0 円 9 0 銭
				合計
離島ユニバーサル サービス調整単価				0 円 0 2 銭
				▲ 0 円 8 8 銭

※2023年11月2日の閣議決定「デフレ完全脱却のための総合経済対策」にもとづく電気料金の高騰の激変緩和措置の実施に伴い、2024年2月分から5月分（1月使用分から4月使用分）においては、電気料金の燃料費調整単価について、1キロワット時につき3円50銭値引きしています。

2 平均燃料価格（貿易統計）

2023年 9～11月 の実績	平均原油価格	85,239 円/k1
	平均LNG価格	90,704 円/t
	平均石炭価格	27,105 円/t
	平均燃料価格	46,500 円/k1
基準燃料価格		27,400 円/k1

（参考1）燃料費調整単価の算定

◇平均燃料価格の算定

		<換算係数>	
		原油換算係数×熱量構成比	
		↓	
原油価格 A	85,239 円/k1	×	0.0053 (α)
LNG価格 B	90,704 円/t	×	0.1861 (β)
+ 石炭価格 C	27,105 円/t	×	1.0757 (γ)
		↓ (10円の位で四捨五入)	
平均燃料価格	46,500		円/k1 (100円単位)

◇燃料費調整単価の算定（低圧の場合）

		<基準単価>	
		燃料価格が1,000円/k1 変動した場合の料金変動	
		↓	
燃料費調整単価	=	(46,500 - 27,400) × $\frac{13.6}{1,000}$ (銭)	
	=	259.76	
		↓ (小数点以下第1位四捨五入)	
激変緩和措置反映前の 燃料費調整単価(税込)		2 円 6 0 銭	/kWh
		<激変緩和措置>	
		↓	
激変緩和措置反映後の 燃料費調整単価(税込)	=	2 円 6 0 銭	-
	=	3 円 5 0 銭	-
	=	▲ 0 円 9 0 銭	/kWh

(参考2) 離島ユニバーサルサービス調整単価の算定

◇離島平均燃料価格の算定

<換算係数>

原油換算係数×熱量構成比

↓

原油価格 A 85,239 円/k1 × 1.0000 (α)

LNG価格 B 90,704 円/t × 0.0000 (β)

石炭価格 C 27,105 円/t × 0.0000 (γ)

+) _____

↓ (10円の位で四捨五入)

離島平均燃料価格 85,200 円/k1 (100円単位)

◇離島ユニバーサルサービス調整単価の算定 (低圧の場合)

<離島基準単価>

燃料価格が1,000円/k1
変動した場合の料金変動

↓

離島ユニバーサルサービス調整単価 = (85,200 - 79,300) × $\frac{0.3}{1,000}$ (銭)

= 1.77

↓ (小数点以下第1位四捨五入)

離島ユニバーサルサービス調整単価 (税込) 0円02銭 /kWh

以 上